

メキシコ研修レポート Mayo de 2018

鈴木 萌

メキシコの首都メキシコシティには、およそ 180 の美術館・博物館があり、世界で最もミュージアムの多い都市のひとつとされています。美術館や博物館の無料開館、入場料割引も毎週のように行われており、地元の人々はその機会を利用して美術館・博物館巡りを楽しんでいます。

今回のレポートでは、そんな文化的な都市メキシコシティで人気の美術館・博物館などを紹介したいと思います。



国立美術館 Museo Nacional de Arte

1982年に設立された国立美術館は、16世紀から20世紀までのメキシコ芸術の最も重要なコレクション 4000以上が収められています。メキシコの芸術作品といえば世界文化遺産にも登録されている壁画運動が有名で、メキシコシティ内にはメキシコ壁画運動家の博物館や美術館は多く点在していますが、それ以前の美術品を集めた美術館はあまりありません。メキシコの多様な芸術作品が幅広く展示されており、作品の鑑賞を通して、メキシコ芸術の歴史やその発展の様子を学ぶことができます。



国立宮殿 Palacio Nacional

国立宮殿はメキシコシティの観光の中心となるソカロにあり、誰でも自由に見学できます。美術館ではありませんが、宮殿内ではメキシコ芸術の巨匠ディエゴ・リベラの最大の壁画「メキシコの歴史」を見ることができます。先スペイン期の先住民の暮らし、スペイン征服、そして20世紀に至るまでの壮大な歴史が9枚の壁画で表されています。





テンプロ・マヨール博物館 Templo Mayor

テンプロ・マヨールは、かつてこの地にあったアステカ帝国の首都テノチティランの大神殿跡です。テノチティランはスペイン人によって16世紀に破壊され、その上にメキシコシティの町が建てられましたが、1913年、工事中に偶然アステカ神殿の基底部や蛇の彫刻が発見され発掘調査が行われると、ここがアステカ帝

国最後の最大都市テノチティランの中央神殿跡であることが明らかになり、その構造や建築過程が明らかになりました。

現在は整備され、博物館として公開されています。アステカ帝国時代の日常生活を紹介する展示は、8つのエリアに分類されています。宗教儀礼や経済から農業まで、エリアごとに様々な側面からテンプロ・マヨールに光が当てられており、アステカ文明やアステカ帝国についての知識を深めることができます。

